

農作物の生育概況等について

1 気象経過

8月は平均気温が平年並、降水量は多く、日照時間は少なく経過した。8月3日から4日は、置賜地域を中心に記録的な大雨となった。

2 主な農作物の生育状況

(1) 水 稲

- ・ 出穂は概ね平年並みとなった（出穂盛期8月5日、平年比－1日）。出穂後、日照時間が少なく、収量、品質への影響が懸念される。
- ・ 県全体の刈取り始期は概ね平年並みの9月17日頃（5%）、盛期は9月30日頃（50%）と見込まれる。
- ・ 農林水産省が公表した8月15日現在の作柄概況は「やや良」となっている。
- ・ 斑点米カメムシ類の発生は、平年より多かったため薬剤防除を徹底した。

(2) 大 豆

- ・ 現在、子実肥大期となっている。一部で湿害の影響を受けた圃場があるが、着莢数は概ね平年並と見込まれる。

(3) 果 樹

- ・ りんご「つがる」の収穫は、前年並みの8月20日頃から始まった。果実肥大は、平年並み～やや小玉傾向である。りんご黒星病は、園地によるばらつきがみられるものの、前年並みに少ない。
- ・ もも主力品種「川中島白桃」の収穫盛期は、前年並み～やや早い8月27～29日頃となった。果実肥大は平年並みで、糖度はやや低い傾向であった。ももせん孔細菌病の発生は少なかった。

(4) 野 菜

- ・ えだまめは、断続的な降雨の影響で、一部で生育のばらつきが見られる。現在、中晩生品種の収穫期となっている。
- ・ ねぎは、高温や断続的な降雨の影響で、一時的に生育の停滞が見られたが、その後、生育は回復傾向にある。現在、収穫盛期に入っている。

(5) 花 き

- ・ 露地花きでは、りんどう、きく類、ダリアの収穫が続いており、品質は概ね良好である。置賜地域のダリアの一部で、大雨による浸冠水が原因の生育不良が見られるが、選別を徹底し出荷されている。
- ・ ストックは育苗、定植作業が行われている。遮光管理や灌水等が適切に行われ、生育は概ね良好である。

3 当面の主な技術対策及び農作業安全対策

〈水 稲〉刈取適期期間を過ぎると、胴割粒や茶米が増え、品質の低下が懸念されることから、適期刈り取りを徹底する。

〈果 樹〉もも、りんご等の適期収穫と厳選出荷、適切な病虫害防除を実施する。

〈野 菜〉果菜類の追肥・灌水による草勢維持、えだまめ、ねぎ等の適期収穫を徹底する。

〈花 き〉施設花きは、各品目の特性と気象状況に応じた温度管理を徹底する。

〈大 雨 後 記〉「農作物の大雨・浸冠水等に関する技術対策（8月4日付け）」を周知している。

〈農 作 業 安 全〉農作業事故防止のための基本的な対策を実施する。